

下市町教育委員会だより

教育委員会から町民の皆様への情報通信



令和5年5月1日 第34号
奈良県下市町教育委員会
教育長 上東祥浩 発行

開校式・入学式～下市あきつ学園～ 入園式～こども園～



✂ 4月6日に下市あきつ学園の開校式、7年生の入学式【R4年度に6年生が下市小学校を卒業したことで、7年生の入学式を執り行いました。7年生の入学式はR5年度のみで開催となります。】、4月7日に新入生の入学式が行われ、4月10日には下市こども園の入園式が行われました。保護者の皆様や先輩に見守られ胸を張って、元気よく入場してきました。新学期からは、マスクの着用を求めないことを基本としているため、【活動の場面によっては、マスクの着用を含め一定の感染症

対策を講じます。】入学・入園式では、子どもたちのわくわくしている様子やにこやかな笑顔を見ることができ、出席した私たちも何だか嬉しくなりました。✂ 下市あきつ学園は、16名の新入生を迎え、1年生から9年生までの児童・生徒がそろい、総勢195名となりました。下市こども園は、8名の新入園児を迎え、1歳児から5歳児まで、42名の園児となりました。

✂ 下市あきつ学園の楠校長先生は、7年生には「自信と誇りを持って学習や運動に励んでください」、新入生には「お友達と仲良く、楽しく学校生活を送ってください。」と、エールを送られました。下市こども園の中本園長先生は、「こども園は、とても楽しいところです。しっかり給食をたべて、お友達と遊んだり、歌をうたったりしてください。」と、はげましの言葉を送られました。子どもたちが、元気よく健やかに成長してもらえることを願っています。

✂ 昨年度は、下市あきつ学園の開校に向けて、小学校・中学校の教員が一同に集まり、活気のある先進的な楽しい学校を目指し、月1回の会議を重ねました。本年度は、これまでの協議内容をベースに実践的な取組へと進めてまいります。

✂ これからは、下市こども園と下市あきつ学園の連携をさらに充実させ、0歳児から9年生までの一貫教育を目指すため、具体的な連携内容の検討を始めます。

教育と福祉の連携

下市町では、教育と福祉が従前から連携を図り取り組んできましたが、昨年度より、学校・園、下市町健康福祉課と下市町教育委員会は、下市町子ども福祉連絡協議会を立ち上げ、年4回の会議、必要に応じたケース会議の開催等、子どもたちの健全な成長を願って、連携を深めています。



本年度も引き続き、取組を進めてまいります。子育てのお悩み等のご相談については、学校・園、下市町教育委員会はもちろんのこと、下市町健康福祉課には保健師、精神保健福祉士が勤務していただいておりますので、気軽にご相談いただければと思います。 連絡先 0747-52-0001【下市町役場内：健康福祉課】 ホームページには、お問い合わせフォームもあります。

下市集学校 春の大抽選会開催！ プレオープン記念

下市集学校とは、多くの卒業生を輩出した『下市中学校』の学び舎を新たに利活用し、地域の皆様を中心とした交流施設です。4月16日には、プレオープン記念として、大抽選会が催され、また記念イベントやブースの出店もあり、多くの人で賑わいました。校舎内のお披露目はもう少し先になりそうですが、地域の皆様が気軽に参加できる、『集いの場』『憩いの場』また『学びの場』として、どのように生まれかわるのが楽しみです。その日が待ち遠しいですね。多くの皆様にご来校いただけることを願っています。どうぞよろしくお願いいたします。



誰一人取り残されない社会へ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



世界では、約29億人の人びとがインターネットにアクセスできません。特に開発が遅れている国ぐにの農村部では、13%の人が携帯電話の電波が届かないところに暮らしているそうです。すべての人のために、安くて公平に使えることを重視した経済発展と福祉を進めていけるように、**質が高く、信頼でき、持続可能な、災害などにも強い※インフラ**をつくることが求められています。

※インフラ：道やダム、電気をつくる発電所など、私たちの毎日の生活を支えている基本的なものや病院・学校・公園など、安心・安全に暮らしていくためになくはならない施設のこと。

下市あきつ学園では、SDGsの理念と下市町をコラボで学ぶ郷土学習「下市学」を進めていきます。

『少し立ち寄ってみてくださいね。』の巻 拓美の園【下市中央公園】

下市中央公園内に、平成5年下市町の文化の拠点として3基の歌碑が建立され、現在は16基(23面)の歌碑が立ち並んでいます。その場所は、拓美の園と名付けられ、その石碑が建っています。歌碑の中から下記の歌を紹介します。



ここはなほ 丹生の社に ほど近し 祈らば晴れよ 五月雨の空 ~後醍醐天皇御歌~

後醍醐天皇が、吉野山を御幸された時、急に雲行きが怪しくなり、少し休憩されてこの句をお詠みになられたそうです。そうすると、たちまちあたりが明るくなって、空が晴れ渡ったという伝説があります。



ご意見・お問い合わせは…

下市町教育委員会事務局

☎ 0747-52-1711

FAX 0747-52-5159

✉ kyoj@town.shimoichi.nara.jp

【丹生の社：下市町の丹生川上神社下社のことを言い、古くは雨師の神として、人々は五穀の豊穰、特にひでり続きには降雨を、長雨の時には止雨を祈るなど水神のご加護を祈った神社として知られています。】

是非、『拓美の園』に立ち寄っていただき、歴史や文学の世界を楽しんでみてください。